

平群

Heguri

≡ 議会だより 6月定例会

No.247

平成26年8月1日

発行:奈良県平群町議会

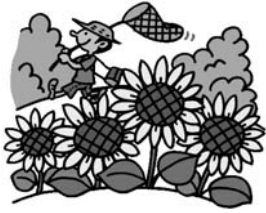
第3回定例会(6月)

議決結果	2
質疑あれこれ	3~6
議員提出議案・議会の動き	7
第4回臨時会(7月11日)	7
町政を問う!	8~13
議会のインターネット中継が 始まります	14



まつりだ! みんなでヨイショ♪♪ (はなさと保育園まつり)

第3回定例会 こんなことが決まりました



平成26年の第3回定例会は6月10日から20日まで11日間の日程で開催しました。初日の10日は、町長提出の9案件（専決処分1件、条例改正案2件、補正予算案1件、請負契約の締結3件、選任同意1件、推せん1件）が上程され、すべての案件を即決しました。一般質問は17日、18日に行われ、11人の議員が質問しました。最終日は、議員提出の4件の「意見書」を審議し、即決しました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	井戸太郎	戎井政弘	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	山田仁樹	下中一郎	繁田智子	馬本隆夫	奥田幸男
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成26年度平群町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町公共下水道6号幹線2工区工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町公共下水道三里・平等寺地区国道バイパス（東側）工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群東小学校大規模改修工事の変更請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公平委員会委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	子ども医療費助成制度の充実を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	子どもの医療費助成制度を通院も含め中学卒業までに拡充するとともに、窓口負担等を無くすことを求める意見書（案）	否決	○	●	○	○	○	●	●	○	●	●	●	
	子ども医療費助成を現物給付により行った場合の国民健康保険国庫負担金減額措置の廃止を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	

質疑あれこれ

6月議会に上程された議案及び
質疑の主なものを紹介します。

専決処分

26年度住宅新築資金
等貸付事業特別会計
補正予算(第1号)

前年度会計の実質収支104
9万7千円の赤字を今年度会計
から繰上充用するもの。なお、
前年度単年度収支は1344万
8千円の黒字。

平群町税条例の 一部改正

①消費税の引き上げに伴っ
て、地方交付税の不交付団体は
消費税増税分が全額増収となる
が、交付団体は消費税増税分と

の調整で交付税が削減されるた
め、交付団体と不交付団体の間
で税収の格差が大きくなる。そ
の対策として、法人住民税法人
税割の税率(市町村12・3%↓
9・7%)を引き下げるもの。

なお、引き下げ分は新設する
「地方法人税」(国税化、企業
の実質的な負担は変化なし)と
して地方交付税の原資になる。

②自動車取得税引き下げに伴
う代替財源確保として、軽自動
車税の標準税率を引き上げ、軽
四輪等に新たに重課税を課すた
めのもの。税率の変更や実施時
期は別表のとおり

主な質疑

質問 法人住民税の税率改正
による平群町への影響は?

答弁 平成26年度について
は、影響はなく、25年度の調定
ベースの試算で、27年度515
万円、28年度684万円減額に
なると見込んでいる。

質問 軽自動車税率変更を実
施した場合、多くの町民の方が
直接影響を受けるが、どれくら
いの町の歳入増、逆に言えば住
民負担になるのか。

答弁 27年度課税から影響が
出てくる。

いま現在の保有台数から試算
すると、27年度は、原動機付自
転車が259万9千円、二輪車
で23万7600円、小型特殊で
2万9600円、二輪の小型特
殊で37万4千円、合わせて32
0万2000円の増収になる。

28年度は、四輪車の新規登録
の乗用車で115万2千円、貨
物車で約6万円、重課税率分
(平成15年3月31日以前の登録
にあった軽自動車)が軽四乗用
(自家用)で129万9600
円の増収、軽四貨物(自家用)
も47万2千円増収として試算し
ている。

質問 県や町に入る法人税が
減った分で新設される「地方法
人税」により、平群町の地方交
付税増収見込みはどのなるの
か。

答弁 平群町の場合、いくら
ぐらい交付税として増額になる
のか、現時点では、はっきりし
ない。

国の地方財政計画等により、
当然交付税は流動するので、非
常に不確定な要因が多いが、試
算としては、直近の交付税の国
全体の原資と平群町に入ってきた
交付税の額などから、約7千
万円増える予想になる。

質問 軽四、自動二輪につい
て、市町村の税収が増える分、
交付税が75%カットの対象にな
るのか。

答弁 通常の税収なので、基
準財政収入額に措置されるもの
と理解している。

質問 自動車取得税交付金、
25年度の決算予定と26年度予算
はどのくらいか。

答弁 25年度決算で2600
万円、26年度予算が1千万円と
なっている。

次ページへつづく



質問

今年4月1日から5%課税されていた自動車取得税が3%に改正され、27年10月1日、消費税が10%に上がるタイミングで自動車取得税が廃止される予定となっている。

25年度2600万円、26年度1000万円の自動車取得税交付金が将来なくなることか。

答弁 町としてはこれだけの財源がなくなると認識している。

反対討論

日本国内の軽自動車の普及状況は、新車販売台数の4割近いシェアを占めている。とくに、地方や都市近郊において普及している。

その背景には、長期にわたる所得の低迷の中で、税を含めた自動車の維持費が庶民にとって重いものとなり、購入価格・維持費がともに比較的安価な軽自動車の需要が高くなっている実態がある。

今回の軽自動車増税で、平群町の住民は618万円の負担増を強いられる。消費税増税とあわせ、まさに、二重の「弱い者いじめ」と言わざるを得

ず、認められない。

賛成討論

法人税の自治体間の格差を是正するために、新しく法人税の国税化が創設される。

そのことで実質上、10倍近い財源が町に入る予想がされている。

グローバル的に考えるならば、自動車取得税交付金についても、平群町の厳しい財政状況において2600万円の交付金が26年度予算では、1000万円の計上になっている。

財源確保のために、まして国で決められたことであり、国の法律を尊重したい。

国民健康保険税条例の一部改正

①国民健康保険税の医療分について、均等割を7千円、平等割を8千円、今年度から引き下げる。

②国民健康保険税の5割、2割軽減の対象者を、今年度から拡充する。

③来年度から国民健康保険税の介護分と支援金分の限度額をそれぞれ2万円引き上げる。

主な質疑

質問 国保税の引き下げは4年連続になる。国保会計の昨年度の実質収支、単年度実質収支、財政調整基金の残高は。

答弁 実質収支が7576万7千円の黒字。単年度収支が1億541万6千円の赤字。ただ、これについては事務ミスによる1億2千万円の返還金があり、その分が含まれているのでマイナスとなっているが、実質的には単年度で約2千万円の黒字になると思っている。

基金は約1億9千万円積んで

昨年度の国保税率

	所得割	均等割	平等割
医療分	6.95%	20,000円	20,000円
支援金分	1.70%	7,500円	7,500円
介護分	1.25%	6,000円	5,000円

今年度の国保税率

	所得割	均等割	平等割
医療分	6.95%	13,000円	12,000円
支援金分	1.70%	7,500円	7,500円
介護分	1.25%	6,000円	5,000円

おり、繰越金も含めて、約2億7千万円保持している。



質問

国保税の軽減拡大については、法律で決まったものなり、平群町でも今年から適用するというところで、7割軽減はそのままで、5割軽減は所得がこれまで33万円の基礎控除プラス35万円だったのを45万円に10万円増やすという内容。

2割軽減はこれまで世帯主を除くとしていたのが、世帯主も入って1人でも2割軽減が受けられるという内容だと思いが、平群町の場合、どれだけ対象者が増えて、金額的な影響はどれくらいあるのか。

答弁 5割軽減は25年度の107世帯300人が軽減の拡大による

り270世帯598人になり、影響額は、25年度で639万1千円の軽減が26年度の試算では、1369万7千円の軽減になる。

2割軽減は、341世帯637人が347世帯673人に。影響額は、25年度の385万4千円の軽減が384万1千円の軽減になる。

2割軽減額が逆に減っているのは、2割軽減のかなりの方が5割軽減に移行するため。ただし、これはあくまでもいま現在の試算。

質問

軽減の拡充で七百余十万円、国保会計の収入が減るということだが、国の財政支援はどのようにしているのか。

答弁

当然、何らかの措置をしていただきたいと思っている。確定次第、確認する。

質問

今回の均等割と平等割の引き下げで、奈良県39市町村の中で何番目に低いのか。

答弁

25年度のデータで今回の減額を当てはめると、均等割・平等割ともに38番目で、平群町より安いところは、1市町村ということになる。

26年度一般会計補正 予算(第2号)

補正総額は3974万2千円で、その内訳として、西宮公民館建て替えへの集会所等施設整備補助金として2千万円、ヘルプカード作成事業として36万3千円、南保育園閉園記念事業実行委員会補助金40万5千円、南小学校防災基盤整備事業189万4千円を計上。

財源は、国県補助金27万1千円、その他財源1500万円、地方債1420万円で、不足する1027万1千円は財政調整基金から繰り入れするものです。

主な質疑

質問 ヘルプカードの配布対象者と配布方法、周知方法は。

答弁 配布対象は、障がいをお持ちの方、高齢者の方と考えている。

それ以外にも、障害手帳をお持ちでない方、あるいは65歳以下の方も含めて健康に不安を感じておられる方等、いろんな状況があるので、必要とされる方を対象にしたいと考えている。

対象者は、7500人から7

600人の方が必要と把握している。

配布方法は、個人情報等をカードの中に記載したりする場合もあるので、基本的には窓口での申請、配布と考えている。

ヘルプカードの周知方法は、広報やホームページの掲載、ちらし等も作成し、住民の方にカードを提示されたときにどういふ対応をしていただきたいといふことをお知らせしていく必要がある。

また、ヘルプカードを最大限利用していただくためにも、広報、ホームページ以外に、民生児童委員の皆さんの協力を得たり、ケアマネジャーの皆さんに説明をして拡大をお願いする。

それ以外に、個々の障がい者団体、当事者団体等も含めて説明をさせていただく。

医療機関等にも周知をしながら活用していただくという2通りの流れで周知を図っていきたいと考えている。

質問

東京都は、赤に白の大きな変わりやすいカードである。

平群町の特性を生かしながら、皆さんが見てすぐわかること、これが大事なので、わかりやすいヘルプカードの作成をお

願います。

答弁 この色はこういう目的のカードということも含め、色分けをすべきかどうか、現在検討をしている。

質問 南保育園は、防災拠点になっている。維持するのにはお金が要するということになるが、その検討はいつ頃議会に示されるのか。

答弁 防災施設についても、南保育園が閉園になったからといって、直ちに閉鎖するというわけではない。

また、それと別に新園が開園されるということも含めて、その点については検討したい。

質問 学校管理費の、整備内容をもっと詳しく説明を。

答弁 避難所の指定を受けている南小学校体育館のトイレが男女共同で、かなり老朽化をしていることから、男女別々の洋式トイレに改修して、平時も非常時も快適で衛生的な環境にすることがまず1つ。

もう1つは、元学童の保育教室だった老朽化したプレハブを撤去し、防災備蓄倉庫を設置して、防災事業と絡めて南小学校の駐車場を拡張し、新園の職員駐車場の確保を考えている。

質問 南小学校の外壁の汚れは異常。外壁を改装する考えはないのか。

答弁 南小学校は、かなり老朽化して、外壁の汚れ等もある。学校現場、PTA、保護者からいろいろな要望がある中で、体育館のトイレの改修要望が一番で、こちらを優先した。

質問

新園の開園に伴って、職員の駐車場の確保ということだが、拡張することで何台駐車ができるのか。

答弁

いま現在、平群幼稚園

で18台、南保育園で24台、合わせて42台。新園の必要台数は不透明な部分もあるが、大体この辺の数字をベースに考えている。

ゆとりをもったスペースではないが、南小学校の教職員用の駐車スペースも若干空いているので、そいつたところも使いつつながら、何とか確保していきたい。

質問 新園の職員は、みんな南小学校の駐車場に対応すると捉えてよいのか。

答弁 まだ不確実な要素もあり、絶対大丈夫ということとは申し上げられないが、新園の中にも駐車場はあり、早朝保育、延長保育とか時間的な利用もあるので、何とか対応できると見込んでいる。

次ページへつづく



質問

南小学校の駐車場は、大変多くの台数になる。いまは小学校だけだが、防犯上の問題、交通安全上の問題、そういった観点から、小学校と区画を分けることも必要になる。その点はどうか。

また、防災備蓄倉庫は新設されるのか。

答弁

子どもの安全対策は重要なので、保護者説明会も開きながら協議した。

裏へ行く遊歩道を設けることで、駐車スペースと子どもたちが歩くスペースを区分けして安全対策をとる計画をしている。

防災備蓄倉庫は、新設をする予定。

質問

防犯上の問題も含めて、完全にフェンス等で分けることが必要。

また、防災備蓄倉庫を新設するのであれば、北小学校の体育館の改修や、東小学校の改修などで、倉庫建設の確認申請で大変苦労されたと思うが、確認申請費用については、この設計費の中でいけるのか。

答弁

防災備蓄倉庫は、平群町の防災対策アクションプランに基づいて、26年度に南小学校に

設置することを計画した。

10平米以下の広さで、それほど大きなものが必要とは思っていない。

防犯上の門扉やフェンス等の対応については、完全に防犯対策をとるのは非常に難しい。

いまのプレハブ倉庫を撤去し、見通しのよい状況にしてから、舗装して備蓄倉庫を設置することで、景観上も防犯上も改善されると考える。

門扉やフェンス等については、遊歩道と駐車場の間にガードパイプで仕切ることと安全対策を講じていきたい。

質問

新園の職員駐車場の計画が、南小学校防災基盤整備事業になったのは、財政的な優遇措置があつてのことか。

答弁

基本的な財源は、学校教育施設整備事業費75%、残りが一般財源。起債への交付税算入はない。

ただ、現在、緊急防災対策事業という位置づけで、県と協議中で不明確な状況。

緊急防災対策事業に認定されれば、100%起債で交付税算入もあるという、かなり有利な状況になる。

質問

教育環境を整えるということで、今回、保護者の要望を受けての事業だが、北小学校や南小学校にも、平群小学校と同様にクーラー設置をすべきではないのか。

答弁

エアコンの導入については、教育効果や管理上の問題等を検証しているところで、非常に教育的にも有効で、財政上も許すのであれば、将来的に拡大していく考えである。

一度にすべてとはいかないが、特別教室等を中心に、現在も順次拡大して取り組んでいる。

質問

南小学校管理費で、体育館のトイレの改修、防災備蓄倉庫の設置があげられている。

答弁

避難所としての指定もあり、現に小学校教育も行われているので当然であると思うが、平群町立小学校再編成検討委員会の答申は無視されているのか。

3校は、そのままいくということか。

答弁

再編成のプランは生きており、今後もいろいろな方々に理解を得る努力をしながら、前に進めていきたいと思っている。



平群町公共下水道 6号幹線2区工 事の請負契約の締結

吉新地区内の奈良中央信用金庫平群支店から東へ約231メートルの区間に公共下水道管を布設する工事の請負契約を締結するもの。

指名競争入札の結果、(株)西谷建設(大和郡山市)と7601万2560円で契約。

主な質疑

質問

指名業者は何社か。

答弁

指名業者数は7社で、うち町内業者は3社。

質問

落札価格は、最低入札価格か。それでくじ引きか抽選で決まったのか。

答弁

落札価格、契約金額は最低制限価格。入札に参加した7社とも最低制限価格で入札し、くじ引きによる落札者の決定となっている。

公共下水道三里・平等寺 地区国道バイパス(東側) 工事の請負契約の締結

国道168号線バイパスの道の駅前から北へ約536メートルの区間に公共下水道管を布設する工事の請負契約を締結するもの。

指名競争入札の結果、北川建設(平群町)と6498万3600円で契約。

平群東小学校大規模 改修工事の変更請負 契約の締結

昨年6月に請負契約(4億6407万5850円)を締結した工事について、仮設渡り廊下の設置、ガス機器から電気機器への変更、LED照明への変更等を行うために契約額を3780万円増額するもの。



議会の動き

議会運営委員会 5月28日

*平成26年平群町議会第3回定例会の議会運営について

文教厚生委員会 5月19日

*国民健康保険税率の改正について
*清掃センター仮置き焼却灰にかかる環境対策について

6月5日

*幼保一体施設開設に伴う進捗状況について

総務建設委員会 5月29日

*総合スポーツセンター防災拠点施設整備事業基本計画について

公共交通対策特別委員会 6月5日

*地域公共交通会議の報告について
*コミュニティバスの運行状況について

公平委員会委員

公平委員会委員に浦野育三氏を再任することに同意しました。



浦野 育三 氏
住所 平群町初香台

人権擁護委員候補者

人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて、塩野善彬氏は、適任であるとの意見で答申することに決しました。



塩野 善彬 氏
住所 平群町福貴

議員提出議案

子どもの医療費助成制度の充実を求める意見書

提出者 繁田智子
賛成者 戎井政弘 高幣幸生
窪 和子 下中一郎
馬本隆夫
(原案可決)

子どもの医療費助成制度を通院も含め中学卒業までに拡充するとともに、窓口負担等を無くすことを求める意見書

提出者 植田いずみ
賛成者 山口 昌亮
(否決)

子ども医療費助成を現物給付により行った場合の国民健康保険国庫負担金減額措置の廃止を求める意見書

提出者 繁田智子
賛成者 戎井政弘 高幣幸生
窪 和子 下中一郎
馬本隆夫
(原案可決)

地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

提出者 窪 和子
賛成者 高幣 幸生
(原案可決)

第4回臨時会(7月11日) こんなことが決まりました

7月11日招集された第4回臨時会では、農業委員会委員の任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律にもとづいて、議会から4氏を農業委員に推薦しました。

なお、平群町の農業委員会委員は選挙による12名と農業協同組合、農業共済組合、西和土地改良区からそれぞれ推薦で1名、議会推薦4名の19名で構成されています。

議会から推薦された農業委員

氏名	住所
岡田 雅行	平群町榎原373番地
小東 喜平	平群町下垣内143番地
馬本 隆夫	平群町若井383番地の4
高幣 幸生	平群町若葉台2丁目11番4号

町政を問う! 一般質問一覧

戎井 議員	1. 小学校再編計画の現状と今後について	山田 議員	1. 平群小学校の大規模改修工事について 2. 入札制度及び工事・委託契約について
馬本 議員	1. 生駒市との行政連携について 2. デマンドタクシー導入を 3. 将来の上水道事業について 4. 集会所新築・増改築等の支援制度拡充を 5. 竜田川駅にスロープの設置を 6. 高齢者の体育施設利用料金無料化を	井戸 議員	1. 西小学校の跡地、まずは全部を平群町の所有に 2. 道の駅へのRVパーク併設、法的にダメという前回の答弁は、本当に正しいのか 3. 身障者用の駐車場に体の不自由ではない人が駐車している！ 4. 自主防災、救助トラブル時の責任誰がとるのか 5. 公園のフェンス、破れた金網の修理を
高幣 議員	1. 全国難読へぐりサミット・パート2について 2. 高齢化が進む本町でのシニアカーについて 3. 歩道の改修について	植田 議員	1. 就学援助制度の充実について 2. 学校図書館司書のさらなる充実を 3. 上庄バイパス上庄東交差点から三里北交差点の歩道の街灯（防犯灯）設置について
森田 議員	1. 町政を広域化で推進しては 2. 町内への企業進出状況は 3. 町内で確定申告ができる様に	下中 議員	1. 奈良教育大学と連携協定の締結を
繁田 議員	1. 旧西小学校校舎を暫定的に貸館として活用をできないか。 2. コミパスのルート見直しとこども園の通園方法について 3. 障害者施設からの優先調達計画について 4. 地域包括支援センターの委託と本町の介護保険サービスの在り方について	山口 議員	1. 廃棄物処理経費削減へ真剣なとりくみを 2. 国道168号の森脇橋以北の歩道設置と安全対策について 3. 国道168号バイパス三里地内の歩行者横断の安全対策について 4. 須崎市への青少年学習体験事業のその後について
窪 議員	1. 超高齢社会における地域包括ケアシステムの構築について 2. 町公式ホームページのリニューアルとスマホアプリで防災・観光情報の提供を 3. 竜田川駅に簡易エレベーター等の設置を 4. かしのき荘のトイレ改修を		

小学校再編計画の現状と

今後について



戎井 政弘

質問

①4月に開校した平群小学校について、通学経路、学習進捗度合い、グループ形成 いじめ、登校拒否等の問題は発生していないか、現状につき報告を求めたい。

②小学校再編成プランにある、3校を1校に、との計画に変更しないことを確認したい。

その上で、残された南小について、現在どのような

答弁

なアクションを行っているか、これからのスケジュール等聞かせて欲しい。

①開校当初、通学経路が変化した校区で不安もあつたようだが、保護者の付き添いや学校ボランティアの支援もあり、元気に通学している。

学習について、個人差はあるが学校間の差異はない。



当初、出身学校間で緊張感もみられたが、5月に入って落ち着いてきている。

いじめや不登校等についても直ちに手をつけねばならない課題はない。

②教育委員会としては、引き続きアクションプランを基本ベースに、特に当該平群南小の保護者や地域の声を中心に、理解と賛同を得られるよう丁寧に進めて参りたい。

生駒市との行政連携について



生駒市との行政連携は、平成22年7月から「平群町のウォーターパーク」と「生駒市井出山の体育施設きらめき」を両住民が同様の利用料金で使用出来るようになりました。

私は、「隣市12万人の生駒市と本格的に行政連携を行う事が急務である」と平成24年3月議会において質問しました。

町長は、「速やかに、生駒市長に働きかけ、積

質問



馬本 隆夫

極的に取り組んでいきたい」と回答。

続いて平成24年9月議会に、「進捗状況について」質問。「山下乡長と施設等の相互利用を行う協議をしている。尚、先ず事務者間で協議し、両副長が取りまとめを行い、両首長に諮るスタンスで進めている」との回答。

私が質問してから、約2年が経過しようとしていますが、「行政連携の進捗状況と今後の取り組みについて」を今議会に質問しました。

答弁

現在、生駒市との協議が終わっていないが平群町の意向としての対象施設は、環境衛生施設・図書館・体育施設等の相互利用を考えている。

尚、時期は、平成27年4月1日を節目と考えており、今後は丁寧且つ慎重に対応して参りたい。

全国難読へぐりサミット

パート2でつづる



高幣 幸生

質問

平群の町名を活用した都市間交流「平群サミット」を提案した。

その後、教育委員会が平群に関して関係市町に意向調査をした。その反応を尋ねる。私の調査では、九州宮崎県西都市では、市指定無形民俗文化財の「平郡十五夜踊り」という太鼓踊りがある。

この西都市の旧三納村の村史には「やまとは国のまほろば…」とある。

また、奈良に関係する地名もある。「きつかけ」作りが大事です。

答弁

全国に分布する平群（平郡）の中で、比較的強い繋がりがあある、宮崎県西都市、千葉県南房総市の他4市町宛に意向調査をした。

本町の教委の質問は、平群（平郡）の地名・人名の存在度。

・地名等についての、歴史的意義の認識度。

地名関連のイベント開催の興味度と平群の名称がつく伝統行事等。

都市間交流の関心度。

回答は、概ね西都、柳井、南房総各市が情報共有や交流に関心を持っていた。

今後、反応の強い、弱いにかかわらず、本町の資料提供を行い「きつかけ」を大切に、平群の地名を各地に発信したい。



町内への企業進出状況は



質問



森田 勝

町の人口減少に歯止めが効かず、財政上だけでなく町づくりとしても問題である。この問題を解決するために、雇用と消費拡大する必要がある。そこで、上庄地区工業ゾーンやバイパス沿いの企業進出状況は如何なっているか。また、上庄地区への企業誘致に幾らお金を使ったのか。

答弁

①上庄西側の日達堂製菓は設計変更により、未だ着工に至っていない。

新たに町内の輸入住宅会社、町外の金属加工会社の2社が進出する事が内定した。両社とも早期操業を希望している。

②上庄東側に東証一部上場会社と企業進出の話を進めていたが、白紙になった。また、今ところ新たな企業進出の話は出ていない。

③バイパス沿いのホームセンターコーナンは、開発区域の変更で地元調整や関係機関と協議中。

また、南都銀行南側のイオン系スーパーは、開発事前協議中で、大店立地法の説明会が7月19日町中央公民館で開催予定。今のところ2社以外の出店計画はない。

④インフラ整備に約2440万円、調査や資料作りにコンサルに約1848万円使った。

コミバスのルート見直しと こども園への通園

質問



繁田 智子

①コミバスの北ルートは集客を見込める地域を走っていない。利用増大を図れるようなルート変更を考えているのか。

②3台あるコミバスを2台にし、節約できた経費を、新しくできるこども園の送迎に充ててはどうか。

③こども園までの送迎車が増えると、国道一六八の渋滞や事故を誘発する恐れがある。平群駅や

竜田川駅前にサテライトを設けて、そこで子どもを町のシャトルバスに乗せて園に直行する、という方法はできないか。

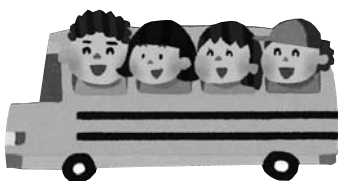
答弁

コミバスは、当初の目的からどんどん拡大して通学・通園・買い物・通院とすべての要望を満たすダイヤ編成は難しい。

西山間や南ルートは一定利用者があるので、北ルートを以前の中央循環

をイメージして変更の検討をしたい。
3台を2台にする検討もしたが、利便性を下げるので運行には3台が必要である。

子どもを駅で預かるには、シャトルバスの時刻編成や降園時の対応など課題が多くあり難しい。
園への送迎時には道路管理や交通安全において町の担当課と十分協議して、安全確保に努めている。



かしのき荘のトイレ改修を



質問



窪 和子

平群町老人福祉センター「かしのき荘」は、高齢者の健康づくり、生きがいづくりを促進し、文化的事業を通じて、高齢者相互のコミュニケーションを図ることを目的とした大切な施設です。現在、トイレは洋式8か所、和式2か所です。特に、お風呂の脱衣場（男性用と女性用）は、寒暖の差が激しい上、暖

房便座でないため大変冷たく、温水洗浄機能もなく利用者が困られています。

現在、シートで対応されていますが、不特定多数の方が利用されますので、衛生面から危惧する声もあり、このままでは身体に影響を及ぼしかねません。

また、他の4か所も温水洗浄機能は付いていません。

公共の高齢者施設として、時代のニーズに合わせて「温水洗浄機能付きの暖房便座」に早急に改修する必要があると考えますが、いかがお考えですか。

答弁

日中、かしのき荘で過ごす高齢者にとっては、「温水洗浄機能付きの暖房便座」は、快適で体調を整える上で効果が大きいと考え、整備を検討し改修を進めてまいります。

入札制度及び

委託契約について



山田 仁樹

質問

平成19年、新財政健全化計画の一環として入札制度改革も行われてきたが、「最近、町外業者の公共工事が多いけど町内業者はどつなってるの?」とよく聞かれます。

実際、入札の大部分は最低制限価格で落札されているが、格付け最上級の法人、町内土木工事業者数は10年前の8社と比較すると25年度では3社に減少し、税収減にもなっています。

このままでは、広域的災害時にも、復旧への不安が残ります。

①町内の活性化、業者育成という観点からも逆行していると思うが、い

かがお考えか?

次に、委託契約について、東小学校大規模改修工事の監理業務は12社による指名競争入札とされたが、幼保一体化建設工事の監理業務は随意契約とされました。

②その経緯、理由について随意契約の規定から、また、契約金額についても聞きします。

答弁

①入札制度の指名業者数等については、早急に検討する。

②設計意図が重要であり、設計思想をより確かに反映させるため、自治法上の特殊業務に該当すると判断した。契約金額は、1868万4千円。



西小学校の跡地 まずは全部を平群町の所有に



質問

本年度から平群東小学校と平群西小学校が廃校になり、平群小学校に統合された。

この統廃合により使われなくなる西小学校の校舎、運動場の利用をどうするのか、これからの課題となっている。

また、小学校は地域にとって身近な存在ということもあり、町民の多く



井戸 太郎

の方が、跡地利用について関心をもたれている。

住民への説明会や議会の場で、さまざまな意見が出されているが、平群町が跡地の全部を所有していないため、議論するにも限界がある。

所有者が多い上に古くからのものがほとんどで、登記がされていない状況ではあるが、取得方法もあるといえはある。

ぜひとも、平群西小学校跡地の利用方法の幅を広げるために、できる限り全ての土地を取得してはどうか。

答弁

所有権登記できない自治会の所有の土地や、明治時代から相続登記されていない土地などがある。

かなり複雑ではあるが、権利関係を調査、整理して、平群町が取得できるように進めていきたい。

就学援助制度の 充実について



植田いずみ

質問

この制度は、学校教育法第19条で、「経済的理由によつて、就学困難と認められる学齢児童または、学齢生徒の保護者に対し

て市町村は、必要な援助を与えなければならぬ」との規定に基づいて実施されています。

この制度の対象者は、要保護者（生活保護世帯）準要保護者（要保護者に準ずる程度に困窮している）と認める者）に学用品や



しかし、平群町では2010年度から新たに支給品目に加わったクラブ活動費、生徒会費、PTA費

に対する補助がおこなわれていないことや、2014年度から国は消費税増税に伴う学用品等の援助費の単価を引き上げていますが、その措置がされていません。

近隣町では対応をおこなっている自治体もあり、早急に国基準への支給品目拡充と単価の引き上げをおこなうべきだと考えます。

答弁

県下の状況も見ながら財政当局とも相談し、制度改正に向けた方向で出来るだけ早く見直しの検討をおこなってまいります。

奈良教育大学と連携協定の締結を



本町の小学校教育や就学前教育・保育の環境が変わり、子供達や保護者の間にも期待と不安がある。

本年4月には、平群西小・東小の両校が統合され、新たに平群小学校が開校しました。また、本年4月には、幼保連携型認定こども園として、はなさと保育園のこども園化と、平群幼稚園と南保育園を統合して新園が開園されます。

質問



下中 一郎

本年4月には、平群西小・東小の両校が統合され、新たに平群小学校が開校しました。また、本年4月には、幼保連携型認定こども園として、はなさと保育園のこども園化と、平群幼稚園と南保育園を統合して新園が開園されます。

ります。小さな町で大きな教育を標榜されているが、より具体的に進めていく方策のひとつとして、官学連携に取り組むべきではないか。

連携内容については、大学の知見を生かした共同研究の実施や、学校教育活動への支援などが考えられます。

本年を、平群町の教育元年と位置づけ、教育分野での奈良教育大学との連携協定を早急に締結すべきと考えるが。

答弁

奈良教育大学と平群町との連携協定は、学校教育に限った単一の協定ではなく、あらゆる分野に対応できる包括協定という形で、官学連携を進めるのが最良であると考えている。連携協定の具体的な内容については、今後、大学側と協議を重ね、本年度中の締結を目指しています。

廃棄物処理経費削減へ

真剣なとりくみを



山口 昌亮

質問

粗大ゴミ等で出た残渣を埋め立て処分する委託料の単価が、入札などの競争原理を働かせ、昨年度比で41%も削減されたことは大いに評価する。

しかし、粗大ゴミトータル処理委託料の単価は、平群町の5万2千円に対して斑鳩町は3万1千円（昨年度）で4割も安い。この主な要因は、資源や可燃、残渣に分別する中間処理委託料の単



粗大ゴミ等で出た残渣を埋め立て処分する委託料の単価が、入札などの競争原理を働かせ、昨年度比で41%も削減されたことは大いに評価する。

中間処理委託料についても、処理方法や業者選定方法を早急に見直し

答弁

現在、本町の清掃センターには収集した粗大ゴミの仮置き、積み替え、保管の場所が確保できないことから、収集した粗大ゴミを直接搬入で受け入れられる町内業者へ従来から委託している。

今後、現在計画している清掃センターの整備を進める中で作業スペースを確保し、処理方法の見直しの検討を行うとともに、受け入れ可能な業者が複数になれば、競争性のある手法にするよう考えている。

9月定例会から

議会のインターネット中継が始まります

平群町議会では、住民に開かれた議会をめざし、平成26年9月定例会から、本会議をインターネットで録画配信します。

「議会の傍聴したいけど、なかなか役場まで行く時間がない」という方は、ぜひ一度ご覧ください。

◆放映概要

- ・平成26年9月議会から
- ・本会議（初日、一般質問、最終日）
- ・録画映像は、定例会終了日からおおむね10日後からご覧いただけます。

◆アクセス方法 平群町ホームページより

（アドレス <http://www.town.heguri.nara.jp/index.html>）

▶ 平群町議会



▶ 議会中継



より身近な議会を

議会の審議がどのようにされているか、録画中継を通し多くの住民の皆さまに議会や行政に関心を持っていただくとともに、質の高い議会運営を目指して参ります。

編集後記

大修理中の覆いが取り
払われ姫路城は、再びその
優雅な姿を現しました。

天守の鯨が実は平群の
山本瓦工業で制作された
ことは、議会だより第23
4号でご紹介しましたが、
社長のご厚意で、窯入れ前
の塑像を目のあたりにし
た私としては、感慨深いも
のがあります。

姫路城は、今年の大河ド
ラマの主人公・軍師官兵衛
ゆかりの城としても、また
世界遺産としても、観光ス
ポットとなっています。

さて、我が町にも二三成
に過ぎたるものと言われ
た、名だたる軍師・嶋左近
がいます。居城であつたと
される椿井城や、相對峙し
た信貴山城の松永久秀と
ともに、これから平群の町
おこしに活用していただき
たいものです。大河の主人
公に、こののは少々高望
み過ぎでしょうか。

繁田 記